



- 続いて、今までのテーマⅡからテーマⅣの内容を踏まえて作成した鳥瞰パース図を、3方向からお示します。
- まず、東側から西側を望む全体のイメージを、
- 次に、南側から北側を望むイメージを、
- 最後に、北側から南側を望むイメージを、それぞれご覧下さい。

## V リニア駅前空間のイメージ（1 鳥瞰パースA）

〔東から西を望む〕



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージになります。 - 45 -

- 駅前広場を中心に据えた、広域的な全体パースとなります。
- 真ん中には、リニア中央新幹線の本線とリニア駅があり、その両側に駅前広場が広がっています。
- リニア本線に向かって、右側が駅の北側で、「駐車場」や「交通広場」等の「交通結節機能」がまとまっています。
- 向かって左側には、リニアの利用者だけでなく、地元の市民も憩いの場として使うことが出来る、広場的な機能を集めています。
- 基本設計時における整備コンセプトの「自然と調和を目指した駅前空間、地域と一体化した駅前空間」を目指し、駅前広場だけが周辺となじまない空間とならないよう、調和のとれた駅前空間となっていることがご覧いただけると幸いです。



- 続いて、南側から北側を望むパースになります。
- 南側にはイベントの際に活用していただける、広場をメインに整備する計画です。
- 広場では、様々なイベントが開催されるだけでなく、地域の方が家族でのんびり過ごしたり、散歩したりできる、居心地の良い憩いの場として活用されることを想定しています。
- 大小のコミュニティ広場では、石積みのステージを活用したイベントが開催されている様子をご覧いただけます。



- 最後が、北側から南側を望むパースとなります。
- 北側には、交通広場や駐車場等のリニアを中心とした、交通結節機能がまとまっています。
- 駐車場や多目的広場では、緑の多い設えとなり、四季を感じられる落ち着いた空間が演出されます。